

見学会  
東日本大震災からの住宅復興

～宮城県七ヶ浜町の災害公営住宅・防災集団移転住宅地・地区避難所～

東日本大震災からまもなく5年が経過し、当初分からなかった課題が少しずつ見えてきている。別な言い方をすれば、過去の災害から何を学んで、何を学ばなかったかが、検証できる状況が整いつつあるのだ。

そういった意味において、阪神・淡路大震災に学び、孤独死を出さない災害公営住宅づくりに取り組んで来た宮城県七ヶ浜町の状況は大変ユニークだ。そうした質的な面のみならず、2014年までに設計プロポーザルを介した中学校や保育所の再建を終え、2015年中にすべての災害公営住宅および地区避難所の建設、防災集団移転住宅地の造成を完了させるなど、復興のスピードの面でも評価できる。

七ヶ浜町は、もともと地域の結びつきが強いこともあって、従前居住地区ごとに災害公営住宅および防災集団移転住宅地の建設を行った他、コミュニティに配慮したりリビングアクセス型住戸を採用するなど、起点をコミュニティに据えた復興事業を展開している。また、事業にあたっては、限られた予算と時間への配慮が必然的事象となるが、設計者選定プロポーザルや住民とのワークショップなどの適切な手法の採用と調整で、質の高い空間を生み出すことが可能になっている。

今回、この七ヶ浜町の災害公営住宅、防災集団移転住宅地、地区避難所、中学校を設計者の解説とともに見学することで、今後の災害で見えてきた被災からの住宅再建での課題を議論し、最終的には将来に向けての知見を共有する場としたい。

主 催：東日本大震災における実効的支援の構築に関する特別調査委員会 岩手・宮城支援検討小委員会

協 力（共同開催パートナー）：日本建築家協会 東北支部 宮城地域会

日 時：2016年1月30日（土）9:00～17:30

行 程：

9:00 仙台駅東口集合

9:50 湊浜地区避難所（全体説明・見学）

10:40 松ヶ浜災害公営住宅＋地区避難所（見学）

11:30 七ヶ浜中学校（見学）

12:20 笹山地区避難所・防災集団移転（見学・昼食）

13:20 花淵浜災害公営住宅＋地区避難所（見学）

14:10 代ヶ崎災害公営住宅＋地区避難所（見学）

15:00 要害地区避難所（見学）

15:30 菖蒲田浜災害公営住宅＋地区避難所（見学）

17:30 仙台駅解散（終了後、JIA 宮城地域会主催で懇親会の計画もあります。詳細は追って。）

定 員：45名（申込み先着順・申込み締め切り2016年1月20日）

参加費：会員5,500円、会員外6,000円、学生5,000円（仙台駅からの交通費、昼食費含む）

問合せ・申込み：佃 悠（東北大学） E-mail：tsukuda@tjogi.pln.archi.tohoku.ac.jp

（申し込みの際には、①氏名、②所属、③メールアドレス、④会員・会員外・学生の別をご記載ください）